

たくさんの「ありがとう」と「笑顔」が集まる学校



令和8年 1月16日
京都市立修学院小学校
校長 鎌田 賢二

校長室だより「こころ」NO.42

いつもより文字数
多めですがお付き
合ください。

家庭教育講座のお誘い～子どもが伸びる待ち上手な親の習慣～

立て続けに校長だよりをお配りする形となりました。情報量をあまり多くならないように気を付けているのですが、入ってくる情報が多くて発信欲にかられます。今回は保護者の皆様にぜひご紹介そしてお誘いしたいことがあります。

1月30日の家庭教育講座について案内が届いているかと思いますが、この講座はここ3年ほど毎年めったにおめにかかれない方々に来ていただいています。一昨年はSNSのフォロワー数が10万人以上でご自身のHSPの経験を語っていただいた「たける」さん。昨年は大阪成蹊大学准教授で元お笑い芸人。現在も京都新聞で月一回第1日曜日に連載をされている福岡亮治先生。どちらも講演にこられた保護者の皆様からは「こんな見方考え方があるってすごい」「違う視点で子育てにも生かせそう」「来てよかった」など様々な感想をいただきました。

今回はベネッセ教育総合研究所 主席研究員の庄子寛之さん。庄子さんはご案内でも書いていますが元小学校の教員でした。（私の記憶が間違っているなければまだ、今の仕事をされて2年経っていないように思います。）少し庄子さんのお話をさせていただくと私と出会っているのは教員時代です。ペップトークで有名な乾倫子先生に「今度講演をするのですが、一緒に講演する庄子先生という人がとにかくすごくて。ぜひ先生にも会ってほしいから来てください。」と大阪の講演に声をかけていただいたのがきっかけです。教育について話されている庄子さんの言葉や内容に力があっていつの間にか引き込まれていたのを思い出します。それから教育新聞にも投稿されている記事を読ませていただき教育だけでなく、子育ても含め多様な見方考え方をもっていらっしゃるので「いつか修学院小学校で話していただけたらいいなあ」と漠然と思っていました。

（ただ、東京からなのでなかなか気軽に呼べないなあとも…）しかし、今年度になってそんな転機が5月に訪れます。乾先生が出版される本の記念講演で庄子さんと再び出会いました。その場でも「庄子先生に来てほしいです。」と伝えていましたが、様々な場所で様々な立場の方に話されていて超人気の方なので5月の時点でも年内スケジュールはほぼ埋まっていました。「年明けなら何とかなるかも…」ということでしたので1月再度お願いをしてこの日に決まりました。庄子さんの素晴らしいは来ていただいたらもちろん感じていただけるのですが、経歴が異色であり、見方考え方、豊かな発想も含めて素晴らしいです。子育てというと「何かしなきゃ」とついつい肩に力が入ってやること山積みということがあります、庄子さんが語ることからどんな子育て観や教育観が得られるのかとても楽しみです。150名限定になっていますが、当日は本校の教職員も一緒に参加します。素敵な時間を共に過ごせたらと思います。自分自身のもっている可能性を引き出すためにも是非ともご予定ご参加ください。

※余談ですが、1月20日は文部科学省指定事業での道徳授業の研究発表を行います。修学院小学校での取り組みが全国にどんどん広がるよう教職員一丸となって進みます。

講演に参加するため何をしますか？笑